

茨城県立水戸農業高等学校旧本館

水戸市緑町2-1-15（茨城県立歴史館内）

JR常磐線の水戸駅から北西へ約3キロメートル、茨城県立歴史館の敷地内の本館南側、県道30号線に沿っている建物が「茨城県立水戸農業高等学校旧本館」です。現在の茨城県立歴史館があるこの地には、昭和45年（1970）まで茨城県立水戸農業高等学校がありました。



茨城県立水戸農業高等学校は、明治28年（1895）4月、茨城県中央農事講習所として、水戸市南三の丸の地に創設され、翌明治29年には学校組織に改められ、茨城県簡易農学校となりました。明治32年（1899）5月には「実業学校令」「農業学校規程」に基づき、甲種農学校に昇格し、翌年6月に、当時東茨城郡常磐村であったこの地に移転し、この建物は本館として使われてきました。その後、校名は「茨城県立農学校」「茨城県立水戸農学校」「茨城県立水戸農業高等学校」と改称され、農業界に輝かしい足跡を残す多くの人材を養成してきました。その後、茨城県立水戸農業高等学校は昭和45年（1970）

2月に、那珂郡那珂町（現・那珂市）東木倉に移転したため、建物が使われなくなり、昭和50年（1975）に外観をほぼ創建当時の姿にするための改修工事が行われ、東側の一部を取り除き、同じ歴史館敷地内ですが、建物の内部を変え移築されました。

木造平屋建、寄棟、瓦葺、平入の建物で、玄関ポーチ部分は大きく前に張り出され入母屋、瓦葺の屋根になっています。外壁は下見板張り、玄関入り口周辺のみ白漆喰で仕上げられています。

通常は、外観のみの公開ですが、講座室として各種ワークショップなどに利用される時もあります。

茨城教育 第八八一号

令和八年七月一日発行

編集責任者 日下部 秀雄

発行人 日下部 秀雄

発行所 一貫団茨城 茨城県教育会

水戸市見和一 一三五六一二

電話 〇二九一三二一七四七

印刷所 有限会社山田軽印刷所